

経済産業省で取り組んでいる 風評被害対策について

平成29年7月
経済産業省

御説明内容

1. 広報動画を活用した情報発信
2. 福島県産品の販売・P R
3. 産業界、流通業界への要請
4. 国際会議・展示会を活用した福島県産品のPR
5. 工業製品等についての風評被害対策

広報動画を活用した情報発信

- 経済産業省が内閣府原子力被災者支援チームと連携し、福島第一発電所の現状、廃炉に向けた進捗状況、避難指示区域の住民への支援、食の安全の確保等、様々な角度から「福島は今」を伝える動画を作成し、公表。
 - Fukushima Today for a Bright Future(平成28年9月25日公開)
 - 福島は今 2017春(平成29年3月10日公開)
- 作成した動画は、国際会議や会談を活用し、DVDにて配布。
- 更なる発信強化に向け、総理官邸国際広報室と連携し、海外向けの動画(90秒)を作成し、公表。(平成29年1月25日)
- また、随時、中国語、韓国語など、多言語化による配信も実施。

内閣府原子力被災者支援チームとの連携



福島は今 2017 春

- **福島は今 2017春**(平成29年3月10日公開)
<https://www.youtube.com/watch?v=MdpYI0EgJ2k&feature=youtu.be>



Fukushima Today
for a Bright Future

- **Fukushima Today for a Bright Future**(平成28年9月25日公開)
<https://www.youtube.com/watch?v=MdpYI0EgJ2k&feature=youtu.be>

総理官邸国際広報室との連携



Fukushima Today

- **Fukushima Today**(平成29年1月25日公開)
https://www.youtube.com/watch?v=Hi_afnXdNHs&feature=youtu.be

福島県産品の販売・PR

- 経済産業省等関係省庁において、福島県産品の販売等を行う「霞が関ふくしま復興フェア」を開催。
- 経済産業省・特許庁内の食堂やコンビニで被災地産品メニュー・福島県産品を提供・販売。

霞が関ふくしま復興フェア

・福島県産品の魅力を発信するため、展示販売、観光PRなどを行う「霞が関ふくしま復興フェア」を、27年7月29日～8月6日、28年7月15日～8月2日の期間において、関係省庁が連携し開催。

平成28年度は経産省、総務省、法務省、外務省、文科省、厚労省、農水省、国交省、環境省、消費者庁、金融庁、特許庁、復興庁の13省庁が参加。

・13省庁売上合計約724万円。



平成28年度開催セレモニー(於:経産省)

食堂での被災地メニュー提供

・経済産業省、特許庁の食堂で、福島の食材を使用した期間限定メニューを提供。(経産省:7月11日～19日、特許庁:8月1日～5日)

これまでの提供食材の例

- ・試験操業で漁獲されたタコ、シラス
- ・被災地産の米・川俣シャモ・鶏肉
- ・カレー・野菜等



コンビニでの福島産品販売 及び情報発信

・経済産業省内のコンビニエンスストアにおいて、福島県の特産品(加工食品、パン等)の販売及び情報発信の実施。



経済産業省における霞が関ふくしま復興フェアの開催結果

【開催イベント】

- ・日時：平成28年7月15日（金）10:30 - 11:00
- ・場所：経済産業省別館1階ロビー
- ・内容：挨拶（経産大臣、復興大臣、福島県知事）、テープカット（復興大臣、福島県知事、経産大臣、経産副大臣、内閣府（消費者庁）・総務・外務・文科・厚労・農水・国交・環境大臣政務官）、展示販売会の内覧



【展示販売会】

- ・日時：平成28年7月15日（金）10:00 - 18:30
- ・場所：経済産業省別館1階ロビー
- ・内容：福島県産の旬の果実（桃）、加工食品、菓子、飲料、銘酒等の展示販売（114種類）。日本橋ふくしま館PR、福島観光PR等。



【参考1：第1回霞が関ふくしま復興フェア】

平成27年7月29日～8月6日 関係省庁7省にて、7日間開催 売上合計約523万円。

- ・開催イベントの開催、展示販売会を実施。

【参考2：これまでの福島産業復興フェア売上高】

第1回：25年10月8日 品数約 80種類、売上高約164万円
（茂木大臣等によるオープニング式典開催）

第2回：26年6月25日 品数約 40種類、売上高約 65万円

第3回：26年8月28日 品数約 50種類、売上高約 64万円

第4回：27年1月27日 品数約120種類、売上高約 84万円



産業界、流通業界への要請

- 経済界（経団連、日商、経済同友会）に対して、産業界での福島県をはじめとする被災地産品の流通・販売促進や企業マルシェの開催等を要請。
- 流通業界（日本百貨店協会、日本チェーンストア協会等10団体）に対して、福島県産品の仕入れ、特産品フェア等を通じた販売促進の協力を要請。

産業界への要請

平成28年10月5日

日本経済団体連合会、日本商工会議所及び経済同友会に対し、産業界での福島県産品をはじめとする被災地産品の流通・販売促進、企業マルシェの開催、社内食堂、贈答品等での利用について、復興庁・農林水産省・経済産業省連名で要請。

・・・貴団体会員企業の事業活動における福島県産品を始めとした被災地産品の流通・販売促進や被災地応援フェアの開催、社内食堂・贈答品等での一層の利用・販売等について、これまで以上の御尽力を賜りますようよろしくお願いいたします。

流通業界への要請

平成28年11月18日

日本百貨店協会や日本チェーンストア協会等流通業界10団体に対し、福島県産品の流通・販売促進、被災地応援フェア、食堂・贈答品等での利用について経済産業副大臣名で要請。

・・・全国に販売網、拠点を有する流通業の方々に、これまで以上の福島県産品の消費拡大に向けた取組をお願いしたいと考えております。・・・貴団体会員企業の事業活動における福島県産品の流通・販売促進や被災地応援フェアの開催、食堂・贈答品等での一層の利用・販売等について、これまで以上の御尽力を賜りますようよろしくお願いいたします。

(参考) 企業マルシェの開催状況

福島県産品の企業マルシェの開催件数

28年度	27年度	26年度	25年度
107件	122件	91件	43件

※福島県東京事務所調べ

企業マルシェの例

○三菱重工

「ふくしま物産展」

開催日：平成28年8月18日

場所：三菱重工神戸造船所



○東京メトロ

「第9回福島産直市」

開催日：平成28年8月5日～6日

場所：東京メトロ銀座駅



○大塚商会

「福島物産展」

開催日：平成28年6月14日

場所：大塚商会本社



国際会議・展示会を活用した福島県産品のPR

○ 経産省が関与する国際会議や展示会等の場において福島県産品等のPRを実施。

福島県産品の企業マルシェの開催件数

28年度	27年度
11件	9件

※福島県東京事務所調べ

最近の開催例

グローバル知財戦略フォーラム2017

日程：29年2月13日～14日

場所：東京ドームホテル

- ・交流会において、福島酒コーナーを設け、19種の日本酒を提供。
- ・同会場にて、観光パンフレットを配布。



電子機器トータルソリューション展2016

日程：28年6月1日～3日

場所：東京ビッグサイト

- ・福島ブース出展し、観光についてPRを実施。
- ・交流会において、福島県産の日本酒、ジュース等を提供。



G7北九州エネルギー大臣会合

日程：28年5月1日～2日

場所：リーガロイヤルホテル小倉

- ・歓迎レセプション(5/1)の場で、福島県産の日本酒(樽酒)を鏡割りで使用(3つの樽酒のうち1つ)
- ・閣僚ランチ(5/2)で、福島産食材を使った料理を提供。
- ・復興庁と福島県が復興PRのための情報発信ブースを設置。



工業製品等についての風評対策（1）

- 工業製品等についての風評被害対策として、放射線量測定や販路開拓のためのビジネスマッチング等を実施。

放射線量測定

・福島県を中心とした企業等からの要請に応じて、現地又は福島市内において、工業製品の放射線量測定を行うとともに指導・助言を実施。

29年度予算額：0. 27億円

28年度予算額：0. 3億円

28年度実績

- ・委託先：一般財団法人材料科学技術振興財団
- ・相談件数57件
- ・測定実施件数1,937件
(28年4月1日～29年3月末)

- これまで（平成23年度～）の累計実績

- ・相談件数 累計 約680件
- ・測定実施件数 累計 約9,400件

※平成29年3月末時点



ゲルマニウム半導体検出器



サーベイメーター



工業製品等のビジネスマッチング（27年度までの事業）

・被災地域の持続的な復興・振興や風評被害の払拭を図るため、国内外での展示会、商談会等を通じて、被災地域の事業者の大手企業等とのマッチングの機会を提供し、販路開拓を支援（産業支援機関、金融機関等が実施する展示会、商談会等の開催への補助）。

27年度予算額：1. 1億円（対象：岩手県、宮城県、福島県）
補助事業数13件

27年度実績：商談成約件数481件、商談成約4.4億円

※平成28年3月末時点

- これまで（平成23年度～）の累計実績

- ・商談成約件数 累計 約32百件
- ・商談成約額 累計 約57億円

※平成28年9月末時点

【成果事例】

REIFふくしま（於：ビッグパレットふくしま）

（主催：公益財産団法人 福島県産業振興センター）

・再生可能エネルギー関連産業のビジネスに取り組む企業等に、技術・情報の発信、商談・交流の場を提供する展示会。

⇒ 風力発電設備事業者と鉄工事業者が本展示会にて接点を持ち、風力発電設備の支柱部分を鉄工事業者が請け負う。（約1億円）



工業製品等についての風評対策（2）

○ 福島県等復興産学官連携支援事業

未だ風評の影響が残る福島県等を対象として、被災地域企業と大学、公的研究機関又は大手企業等との連携の機会を提供し、試作品製作等を支援することにより、商品開発、販路開拓を促進。東北経済産業局にて公募を実施し、5件採択。

【予算額】

29年度予算額：113百万円

【補助事業者】

被災地事業者とのネットワークを有する民間団体等
(産業支援機関、金融機関等)

【補助事業】

① 産学官連携支援事業（10/10補助）

被災地企業の販路開拓のため、

- ・被災地での展示会、セミナー、シンポジウム等の開催
- ・被災地企業に対する展示会への出展支援

・被災地企業のシーズに合った大学、公的研究機関又は大手企業等との面談、商談の機会提供等を実施。

② 商品開発支援事業（1/2補助）

被災地企業の商品の対外発信力や商品開発力、技術力を高めるため、被災地企業が大学、公的研究機関又は大手企業等と連携して行う試作品製作等を支援。

○ 28年度実績

産学官連携成約件数：52件

商談成約件数：122件

産学官連携成約金額：1,384千円

商談成約金額：224,189千円



[展示会の例]



[セミナーの例]



[面談会の例]

(参考)「日本橋ふくしま館 (MIDETTE)」について

- 風評の払拭と福島県のイメージ回復を図るため、東京・日本橋に福島県アンテナショップ「日本橋ふくしま館」(愛称：MIDETTE (ミデッテ)) が平成26年4月12日にオープン。
- 福島県の日本酒や果物、工芸品等の特産品の魅力をはじめ、季節ごとの観光情報、食の安全・安心を確保する取組など、復興に向かう「ふくしまの今」を発信。

施設の概要

所在地：東京都中央区日本橋室町
4-3-16 柳屋太洋ビル1階
営業時間：(平日) 11:00~20:00
(休日) 11:00~18:00
休館日：年末年始
面積：約450㎡ (約137坪)
URL: <http://midette.com/>

売れ筋商品 (29年4月)

1位	ままだおる(郡山市)
2位	厚揚ソフトかまぼこ(いわき市)
3位	飲み比べセット(店内イベント)
4位	うまくて生姜ねえ(猪苗代町)
5位	薄皮小饅頭(郡山市)



外観

設置・運営：福島県と福島県商工会連合会が連携して設置。
運営は、公益財団法人福島県観光物産交流協会。

食品(米・麺類・日本酒・加工食品)：約2,100品目
工芸品(会津塗、起き上がり小法師等)：約400品目

飲食コーナー：福島県の郷土料理(わっぱめし等)やB級グルメ(浪江焼きそば)等を事業者が交代で提供

催事コーナー：旬の果実や特産品の販売

実演コーナー：薄皮まんじゅうの実演販売等

※来館者数：年間37万人(27年度)
29年11月24日に100万人達成

